

四万十市立大用中学校 学校沿革の概要

年	主なことがら
昭和 22 年	法改正により富山村立青年学校を廃止し富山村立第一国民学校高等科を分離し富山村立富山中学校を設置する。 東部・西部分教場を置く。
昭和 26 年	東部・西部分教場を独立させ本校を富山村立中央中学校と改称する。 現在位置移転改築する。
昭和 29 年	中村市発足に伴い中村市立大用中学校と改称する。
昭和 39 年	技術室新築、校庭拡張する。
昭和 45 年	大用中学校屋内体操場(へき地集会室)が完成する。
昭和 45 年	台風 10 号被災により校舎大修理を行う。
昭和 47 年	校舎東側、校庭南側の金網塀が完成する。
昭和 48 年	火災により校舎全焼する。
昭和 49 年	大用小中学校兼用プール落成する。
昭和 49 年	新校舎起工式を行う。
昭和 50 年	新校舎落成する。
昭和 57 年	県大会で男子軟式庭球部団体戦初優勝、四国大会出場する。 市民スポーツ賞、ライオンズスポーツ賞を受賞する。
昭和 59 年	プール単独給水施設が完成する。
平成 4 年	体育館アリーナ全面取り替えする。
平成 10 年	2 学級編成となる。
平成 11 年	玄関前スロープが完成する。
平成 12 年	体育館倉庫屋根葺き替え工事を行う。
平成 15 年	体育館周辺整備 1 期を行う。 中村市立片魚中学校と統合する。 体育館周辺整備 2 期・体育館倉庫改築工事を行う。
平成 17 年	市町村統合により四万十市に改名 四万十市立大用中学校となる。
平成 28 年	学校給食開始する。
平成 29 年	新体育館起工式を行う。
平成 30 年	新体育館落成する。
平成 31 年	高知県児童生徒表彰 生徒会が受賞する。
令和 2 年	高知県学校新聞づくりコンクール 教育長賞受賞する。